

## 選手注意事項

- 1) 競技規則は、2025年度日本陸上競技連盟規則と本大会規則とを適用する。
- 2) 対抗の方法は、男女別の学校対抗とし、各種目の得点は、1位8点・・8位1点とする。  
(同点の場合は、優勝種目数によって順位を決める。尚、順位の設定しない場合は2位の数によって決定する。)  
※クラブチーム、拠点校は対抗得点に入れない。各種目で8位までに入賞した場合、その得点は無効とし順位は繰り上げない。
- 3) 招集について
  - ①トラック競技は競技開始前30～20分前  
フィールド競技は競技開始40～30分前までに招集場所にて競技者係の点呼を受けること。  
棒高跳は競技開始60～50分前までに招集場所にて競技者係の点呼を受けること。
  - ②点呼は必ず本人が受けアスリートビブスを競技者係に提示すること。代人は認めない。
  - ③点呼に遅れた者は棄権として出場を認めない。
  - ④招集場所から競技場に移動するときは、審判員の指示に従い規律ある行動をとる。
  - ⑤招集場所は、北側ゲート入口前付近とする。
  - ⑥アスリートビブスは胸・背部に縫いつけること。(安全ピン可)  
(走高跳・棒高跳・走幅跳の選手は胸部か背部のどちらかに付ければよい。)
  - ⑦トラック競技は腰ナンバーカードを競技者係から受け取り、右腰やや後ろに付け、終了後に必ず返却する。
- 4) トラックにおける走路順及びフィールドの試技順は、プログラム記載の通りとする。準決勝・決勝は抽選して決定する。
- 5) 男子400mと男女800mは準決勝は行わず、決勝は予選通過した16名から上位8名、下位8名が2組のタイムレース決勝で行う。
- 6) リレーのオーダー用紙の提出は、招集完了1時間前までに競技者係に提出する。また、オーダー変更の場合も同様に完了していること。(予選と決勝のメンバーが同じ場合も再提出)
- 7) 競技用具は、競技場備え付けの用器具を使用する。  
(棒高跳ポールは個人のものを使用しても良い)
- 8) 跳躍競技のバーの上げ方は下記の通りとする。最後の一人になるまで以下の上げ方とする。  
(天候や参加者、参加者数によって上下することもある)  
\*男子棒高跳…(練習1m70) 1m80から10cmずつ上げる。  
\*男子走高跳…(練習1m20) 1m25・・・1m55まで5cm 以降は3cmずつ上げる。  
\*女子走高跳…(練習1m05) 1m10・・・1m40まで5cm 以降は3cmずつ上げる。  
\*四種競技の走高跳は  
\*男子…(練習1m15) 1m15・1m20・1m25・1m30 以降は3cmずつ上げる  
\*女子…(練習1m00) 1m00・1m05・1m10・1m15 以降は3cmずつ上げる
- 9) 競技場内には競技をする者以外には立ち入ることはできない。
- 10) 競技者は招集場所から競技場所への移動の際は、指定の経路を通して入場すること。選手はメインスタンド前を通行しない、よってゴール後はスタンド裏側を通行すること。
- 11) トラック競技が行われていない時間帯、及び100m、200m、ハードルの競技中に限りバックストレートをウォーミングアップエリアとして開放する。詳細は審判員やアナウンスの指示に従うこと。  
ただし、棒高跳の競技中の使用は認めない。また、用具の持ち込みはできない。(リレーバトンも含む)
- 12) 以下の種目には計測ライン記録を設ける。  
\*男子走幅跳…3m50 \*女子走幅跳…3m00 ※ただし、その選手の最初の有効  
\*男子砲丸投…6m00 \*女子砲丸投…5m00 試技は計測する。
- 13) 男子3000mはグループスタートで行う。(人数の2/3が内側からのスタート)
- 14) トラック競技やフィールド競技の待機場所付近では、応援や観戦によって競技の妨げにならないようにすること。
- 15) 競技場には、当該選手・審判員以外は入場できない。スタート地点に戻る際は、本部席前を通らず、スタンド外側かバックストレート側を通ること。
- 16) スパイクのピンの長さは、トラック種目は9mm以下、フィールド種目は12mm以下とする。ニードルピンは使用できない。
- 17) TR5.5、TR5.13.3より競技で使用する靴底の最大の厚さを下記の通り規制する。規定外の靴では競技には参加できない。  
・400mまでは20mm以下 ・800m以上は25mm以下とする。 ・フィールド種目は20mm以下  
※フィールド競技では靴の前の部分が踵の部分の厚さを超えてはならない。
- 18) 8位までに入賞した選手は、表彰は行わず、賞状をスタンド内エントランスホールにて種目毎に置いてあるので必ず持ち帰ること。
- 19) 結果の発表は記録掲示板へ掲示する。全ての記録は大会終了後、十勝陸上競技協会ホームページに掲載する。  
但し、準決勝・決勝への進出者、スタートリストについては競技者係付近の掲示板に掲示する。
- 20) 四種競技は次の方法で行う。(試技は3回とする)  
\*男子四種競技…110MH 砲丸投 走高跳 400M  
\*女子四種競技…100MH 走高跳 砲丸投 200M  
(四種競技のうち、一種目を棄権したものは失格とする。ただし、不正出発あるいは無効試技によって得点を得られなかった場合はこの限りではない)
- 21) 対抗戦の表彰は次の通りとする。  
男子総合の部、女子総合の部、男女総合の部それぞれ8位まで表彰する。授与の方法は、大会終了後アナウンスにて連絡する。